

JQAの取組と認証産業の活用

JQAが取組む新しい認証分野

日本には規制がない分野においては、ガイドライン作りから認証機関が参加し、国際標準化および認証制度開発の取組を進めている

分野

生活支援ロボット



自動配送ロボット



課題・ニーズ

課題・ニーズ

- ✓ 日本で規制がない分野については、安全性を始めとする品質担保を如何に行うかという課題がある



- 品質担保の為には「標準化」とともに、「認証スキームの開発」が必要
- これらのノウハウは企業よりむしろ認証機関に蓄積されている

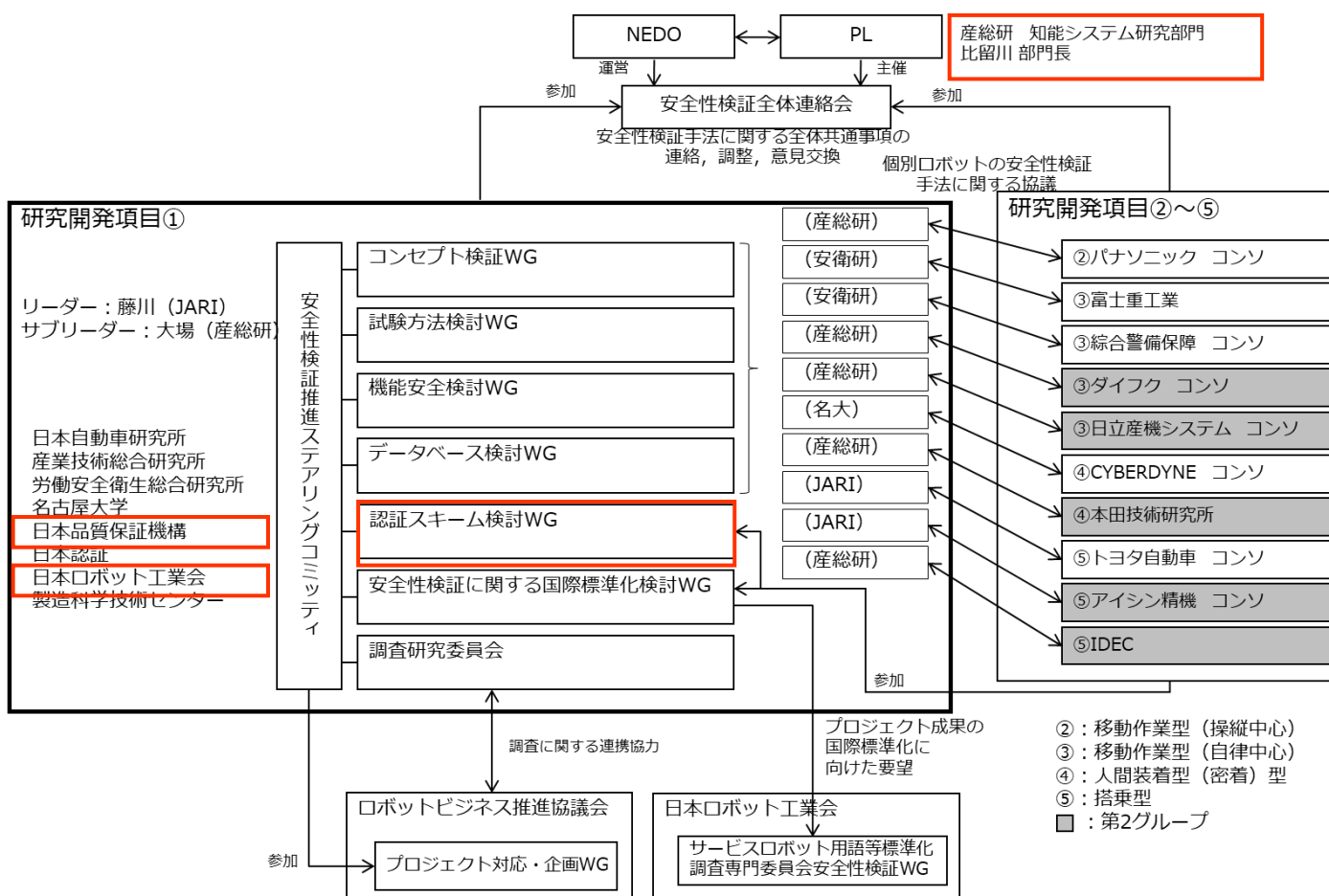
認証産業の活用

- ✓ これまでの適合性評価活動を通して蓄積した知見を元に、標準化を支援
 - ✓ 国際的なプラクティスに整合している認証スキームの開発
- 
- ✓ 標準化・認証スキーム開発共に国際的な整合性を踏まえて作成することで、日本企業の海外展開をサポート

JQAの取組① NEDO「生活支援ロボット実用化プロジェクト」

政府、国研、産業界、認証機関のフォーメーションにより国際標準（ISO 13482）および認証スキームを開発しルール形成および新技術の社会実装を促進

■プロジェクト体制図



アウトプット

- ✓ 技術開発と規格開発に加え、認証スキームの開発を同時に行う事で **スムーズな社会実装を促進**
- ✓ ISO 13482はDG GROWと情報共有（日EUロボットWG）を行い **欧州機械指令の整合規格にも採用され、日本初の国際的なルール形成を実現**
- ✓ 認証機関が参加し、認証スキームを開発することで **国内での認証体制が同時に整備された**

JQAの取組② 自動配送ロボット安全基準開発

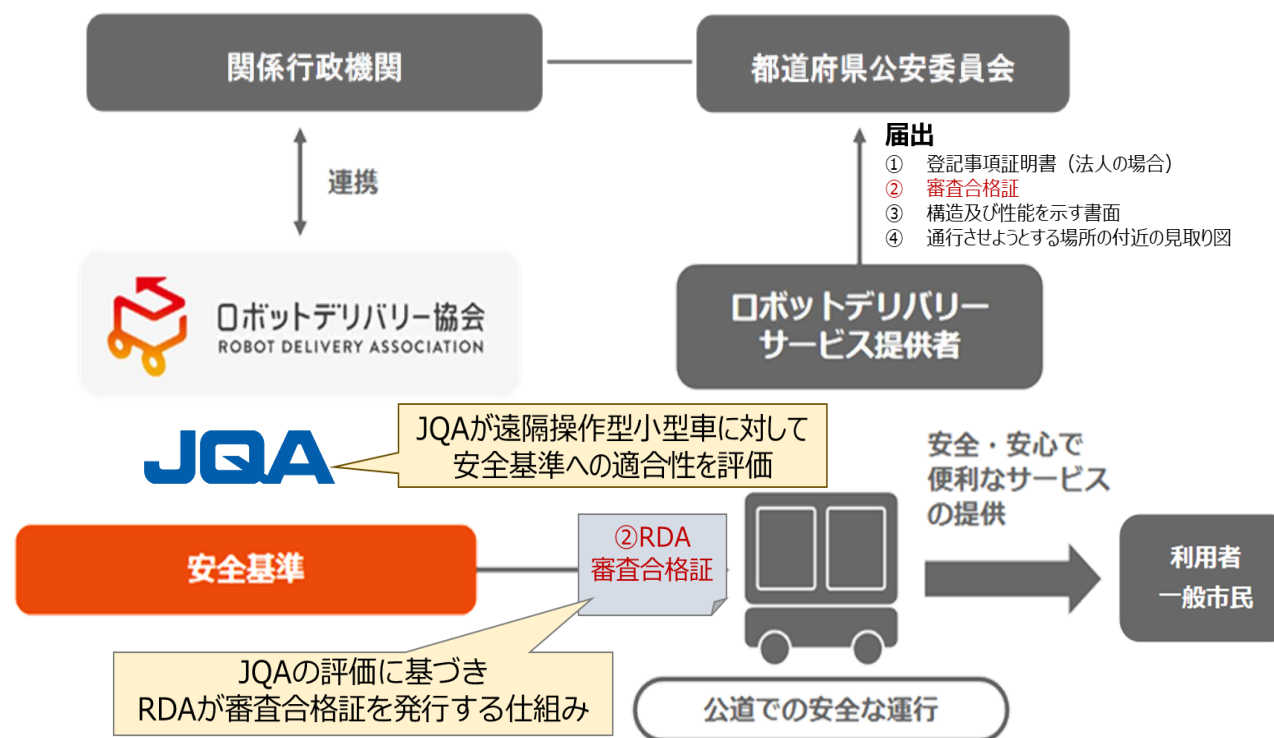
新技術に関する規制の検討と同時に、基準および認証制度を策定することによって新技術の社会実装が促進される

■ 規制・基準・認証スキームの検討枠組み

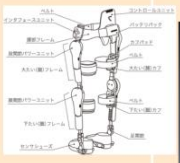
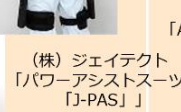


- ✓ 規制の在り方（道路交通法改正）
- ✓ 基準の内容（国際規格の活用）
- ✓ 認証スキーム（認証を規制に活用）
等について協議

■ 自動配送ロボットに関する認証スキーム



- JQAは改正道交法への適合に向けた業界の**安全基準策定**と**認証制度の設計**並びに**評価方法策定**に貢献
- 作成した安全基準をもとに、**日本発の国際標準化（IEC/TC 125）を推進**

FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
 パナソニック プロダクション エンジニアリング (株) 「リシヨーン」	 CYBERDYNE (株) 「HAL自立支援用下肢タイプ」	 マッスル (株) 「ROBOHELPER SASUKE」	 パナソニックエイジフリー (株) 「リシヨーンPlus」	 (株) ATOUN 「ATOUN MODEL Y」	 (株) イノフィス 「マッスルスーツEvery」	 パナソニック株式会社 「歩行トレーニングロボット」	 サンコール株式会社 「Orthobot」	 パナソニックホールディングス(株) 遠隔操作型小型車	
 (株) ダイフク 「エリア管理システム」	 RT.ワークス (株) 「ロボットアシストウォーカー RT.1」	 RT.ワークス (株) 「ロボットアシストウォーカー RT.2」	 (株) ジェイテクト 「パワーアシストスーツ 「J-PAS」」	 (株) ダイドー 「自立推進トレーニングロボット 「上向き作業用アシストスーツ「J-Walkerテクニック」」 (TASK AR1.0)」	 (株) ジェイテクト 「パワーアシストスーツ 「J-PAS fleairy」」	 TB グローバルテクノロジーズ (株) 「運搬支援ロボット CoRoCo-S100」	 (株) ジェイテクト 「パワーアシストスーツ 「J-PAS LUMBUS II」	 CYBERDYNE (株) 「自立支援用HAL下肢タイプ」	
 CYBERDYNE (株) 「HAL作業支援用 (腰タイプ)」	 本田技研工業 (株) 「Honda歩行アシスト」	 日本精工 (株) 「ガイダンスロボット LIGHBOT」	 シャープ (株) 「SURVEILLANCE ROBOT (SHARP SV-S500)」						
 CYBERDYNE (株) 「HAL介護支援用 (腰タイプ)」	CE TUV NORD 本田技研工業 (株) 「Honda歩行アシスト」 TUV NORDとの連携による CEマーキング(医療機器指令)対応								